

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立東加平小学校 校長 田中 岳晴

1 学校教育目標

- ① 明るい子：自分に自信をもち、自分を、友だちを大切にできる子
- ② 強い子：あきらめない強い心とやり遂げる体力のある子
- ③ 考える子：めあてをもち、意欲的に学習する子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して豊かな人間性を育てる。
- ② 学校図書館を活用し、学習や生活に生かそうとする主体的な力を育てる。
- ③ 意欲的に多くの本を読もうとする態度を育てる。
- ④ 必要な情報を選択し、活用する力を育てる。
- ⑤ 読書生活の基本的な習慣を養い、生涯読書につなぐ力を育てる。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,126 冊（蔵書基準冊数 10,560 冊）／蔵書率 114.8%									
	② 新規購入図書 658 冊／廃棄図書 446 冊／増減冊数 212 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.0%	0.6%	7.9%	6.0%	12.6%	4.9%	2.4%	6.0%	4.6%	52.6%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、図書支援員勤務日の中休み・昼休み・放課後、毎日の昼休み （前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 20,012 冊（前年度末：34.8 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 69%（前年度末：75%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊／廃棄図書 冊／増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 興味がある本を手に取り、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館に親しみ、借り方や扱い方を知り、正しく利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 学校図書館を使う授業を月に2回以上行うことにより、本を手取る機会を増やすことができる。	① 各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。	
② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねることができる。	② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。	
③ 学校図書館に親しみ、借り方や扱い方を知り、正しく利用することができる。	③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%	
④ 興味のある本や調べたい本を手に取り、読書をしたり、調べたりすることができる。	④ 学校図書館支援員による授業支援を5回以上行う。	
目標達成状況		

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第2学年	① 様々な分類の読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って正しく扱う態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本、友達や図書委員会、学校図書館支援員などが紹介した本を探して、読書することができる。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ね、図鑑や科学的な読み物など、読書の幅を広げることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、正しく扱うことができる。 ④ 様々な分類の読み物や調べたい本を手に取り、読書をしたり、調べたりすることができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④ 学校図書館支援員による授業支援を5回以上行う。
目標達成状況	
第3学年	① 様々な分類の読み物に興味をもち、読書しようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館の利用に慣れ、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書することができる。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ね、辞典や図鑑等の使い方を知り、使うことができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書や探究活動を行うことができる。 ④ 様々な分類の読み物や調べたい本を手に取り、読書をしたり、調べたりすることができる。	① 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 学校図書館資料等を活用して、年間10時間以上探究を中心とした学習活動を行う。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④ 学校図書館支援員による授業支援を5回以上行う。
目標達成状況	
第4学年	① 様々な分類の読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、資料や情報を収集・活用する力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ね、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等の使い方を知り、情報を収集して探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、すすんで読書や探究活動を行うことができる。 ④ 幅広い分類の読み物や調べたい本を手に取り、読書をしたり、調べたりすることができる。	① 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 学校図書館資料等を活用して、年間10時間以上探究を中心とした学習活動を行う。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④ 学校図書館支援員による授業支援を5回以上行う。

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

目標達成状況	
第5学年	① 様々な分類の読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ② 適切な読み物を選んで読み、自分の考えを広めたり深めたりする態度を育てる。 ③ 問題解決に向け、情報を収集し、調べたことをまとめる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 読書をする経験を重ね、興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞、辞書や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知り、適切な情報収集ができる。 ④ 適切な読み物や調べたい本を手に取り、読書をしたり、調べたりすることができる。	① 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 学校図書館資料等を活用して、年間10時間以上探究を中心とした学習活動を行う。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④ 学校図書館支援員による授業支援を5回以上行う。
目標達成状況	
第6学年	① 様々な分類の読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ② 適切な読み物を選んで読み、自分の考えを広めたり深めたりする態度を育てる。 ③ 問題解決に向け、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用し、まとめる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 読書をする経験を重ね、興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞、辞書や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知り、適切な情報収集ができる。 ④ 適切な読み物や調べたい本を手に取り、読書をしたり、調べたりすることができる。	① 年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ② 学校図書館資料等を活用して、年間10時間以上探究を中心とした学習活動を行う。 ③ 学校図書館支援員を活用した学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④ 学校図書館支援員による授業支援を5回以上行う。
目標達成状況	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 蔵書構成割合の低い書籍を充実するように新規図書購入計画を作成し、6月までに選定する。 ② 寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を10月中に完了させる。 ③ 前期までに除籍・廃棄図書の整理・整備を行い、新刊本の学校図書館へ入れる準備をし、除籍本を学級文庫へ移すことにより、充実させる。	

<p>【学校図書館支援員との連携・協働】</p> <p>① 学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを5月までに全クラス実施する。また、読み語り、本の紹介、ブックトーク、資料収集、レファレンスを各学級で行ったり、関連図書の掲示をしたりするなどして、本に興味をもてるようにする。</p> <p>② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について学校図書館支援員への積極的な相談や情報交換を行う。また、学校図書館資料を充実させるために、新聞やパンフレットなどの図書資料を蓄積させていく。</p> <p>③ 学校図書館支援員と連携しながら「学校図書館だより」を毎月発行し、本の紹介や図書室の使い方、読書の記録や読書の習慣などを児童や家庭に周知する。学校図書館や学級にも掲示して常に見えるようにする。</p>	
---	--

<p>【その他】</p> <p>① 学校図書館支援員と図書ボランティアによる季節の掲示、図書資料の収集・整理など学校図書館の環境整備を進める。</p> <p>② 児童にとって和やかで過ごしやすい空間作りを心掛ける。</p> <p>③ 図書委員会によるポスターの作成と掲示を行ったり、読み聞かせを行ったりする。</p> <p>④ 読書の記録の仕方を見直し、記録しやすくする。また、読書冊数の中間報告をすることで、目標達成に向けた意識付けを行う。</p> <p>⑤ 収集した図書資料を他の教科（特に国語部）と連携を取って活用方法を検討する。</p> <p>⑥ 団体貸出・電子図書を活用できる環境作りを行う。</p>	
--	--

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）